

グラフ

No. 577 GRAPH FUKUOKA

2014
WINTER

冬

ふくおか

福岡の、歴史遺産をゆく

第3回 宗像・福津編

文＝安部龍太郎

特 集

水素・燃料電池で、
私たちの明日が変わる。

2014 冬
WINTER

グラフ

ふくおか

No. 577 GRAPH FUKUOKA

グラフふくおか 冬号 WINTER 2014 (通巻577号)
平成26年12月20日発行 (季刊)
〒812-8577 福岡市博多区東公園7番7号
☎092-651-1111 (代表) ☎092-643-3102 (直通)
県ホームページ <http://www.pref.fukuoka.lg.jp/>
※グラフふくおかのバックナンバーも掲載しています



03 特集

水素・燃料電池で、
私たちの明日が変わる。

08 知事のふるさと訪問

朝倉市
岡垣町

10 きらめきマイタウン

福智町

16 福岡の、歴史遺産をゆく

宗像の三女神
第3回 宗像・福津編

20 地域のチカラ

21 情報広場

22 ふくおか県政フラッシュ

24 県議会だより

表紙
紹介

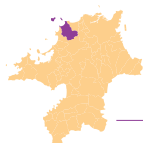
沖ノ島
おきのしま

世界遺産登録を目指す
神の島

宗像市神湊^{こうのみなと}から、約60キロメートル離れた玄界灘のまっただ中に、その島があります。周囲がおよそ4キロメートルの沖ノ島。宗像大社の三宮のひとつ、沖津宮^{おきつみや}が鎮座し、荒波に洗われるこの島そのものが御神体とされています。切り立つ絶壁、古代から祭祀^{さいし}が行われてきた巨石群^{いしぐみ}。人為の及ばない自然の険しさは、この島に神が宿ることを気高く物語っているようです。



▼ 関連記事16ページへ



宗像市

☎0940-62-1311 (宗像大社)

※沖ノ島は、通常立ち入りできません。

水素・燃料電池で、 私たちの明日が変わる。

今、次世代のエネルギーとして水素が注目を集めています。
私たちの生活をこれから大きく変えていくかもしれない
水素・燃料電池の”今“をレポートします。

なぜ水素・燃料電池なの？

水素は、石油や天然ガスといった化石燃料、下水汚泥などから発生するバイオガス、太陽光や風力などの自然エネルギーで発電した電気を利用した水の電気分解など、多種多様な供給源があります。

燃料電池は、水素と酸素を化学反応させることによって電気と熱を発生します。ガソリンなどに比べてエネルギー効率が高く、化学反応によって水が発生するだけで、二酸化炭素を一切排出しません。そのため水素は「究極のクリーンエネルギー」と言われています。

この水素を利用する技術は、すでに家庭用燃料電池「エネファーム」として、私たちの生活の中で実用化されており、2009年に市販されてから、すでに全国で約10万台が普及しています。国は2020年に140万台、2030年には530万台の普及を目標としています。

水素・燃料電池は天然資源の乏しいわが国において、次世代のエネルギーとして、また、数多くの企業が関連できる産業分野であることから、地域経済活性化の起爆剤として期待されています。

教育および実験研究用の
水素燃料電池カー
(撮影協力:SPACE-DEVICE INC.)



10月22日に九州では初となる商用水素ステーションとしてオープンした「イワタニ水素ステーション小倉」

北九州市八幡東区

北九州市八幡東区にJX日鉱日石エネルギーが商用水素ステーションを開所予定

北九州市小倉北区

イワタニ水素ステーション小倉

県内の商用水素ステーション

現在3カ所

2015年度までに県内10カ所程度の整備を目指します

福岡市中央区

福岡市中央区に岩谷産業が移動式の商用水素ステーションを開所予定



オープニングセレモニーの様子。小川知事も駆け付けた



水素ステーションでは、国家資格を有する者が水素を充填する



FCVの補給口はガソリン車に似ている。満タンになるまで約3分



FCVの普及と水素ステーションの整備を一体的に推進するために「ふくおかFCVクラブ」を2014年8月に設立。共同代表は九州経済連合会の麻生泰会長と小川洋知事。会員数221企業・機関(2014年12月1日現在)

FCVの普及促進のために不可欠なのが、燃料を供給する「水素ステーション」の整備です。現在、県内の商用水素ステーションは、2014年10月に開所した「イワタニ水素ステーション小倉」を含めて、3カ所の整備が決定しています。

県は、「ふくおかFCVクラブ」を通じて水素ステーションの整備を事業者に働きかけるとともに、候補地選定のサポートや設置に係る許可の円滑化など、水素ステーションの整備促進に取り組んでいます。

2015年度中に10カ所程度の商用水素ステーションの整備を目指し、FCVの普及をサポートしていきます。

加速する「水素ステーション」の整備



FCVとは？

水素と酸素から電気を作り出す燃料電池を用い、そこで作り出された電気を使ってモーターを回して走る自動車のこと

12月15日に市販が開始されたFCV、トヨタ「MIRAI」。価格は700万円強で、国の補助金を活用すると、実際の負担は500万円程度となる。2015年度内にはホンダもFCVを販売開始予定で、日産も2017年の発売を目指している



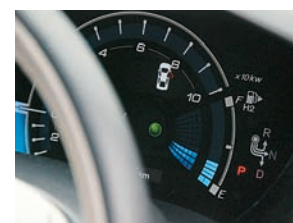
FCVのここがすごい

- 究極のエコカーである
走行時に排出するのは水のみで、とてもクリーン
- 燃料の充填時間が短い
ガソリン車並みの3分程度で満タンにすることができる
- 航続距離が長い
1回の充填で約700キロメートル走行可能

軽快な加速で、モーター音も静か。操縦・安定性も優れている



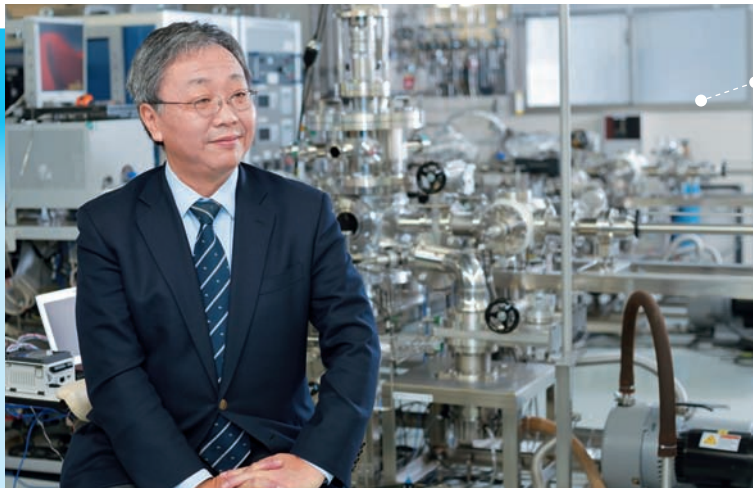
燃料計には、エネルギー源の水素を表す「H2」の2文字



水素・燃料電池の普及をけん引する鍵として注目されているのが、水素で走る車「燃料電池自動車（以下、FCV）」です。10年前には、「未来のエコカー」「1台1億円」とも言われたFCVですが、搭載する燃料電池などの技術開発により大幅なコストダウンが実現し、2014年12月、ついに国内の自動車メーカーによる市販が開始されました。エネルギー効率は従来のガソリン車の約2倍で、走行時に排出するのは水だけ。他の国内メーカーからも相次いで発売される予定で、今後の本格的な普及が期待されています。

県では、福岡県をFCVの普及拠点にすることを旨として、「ふくおかFCVクラブ」を設立し、地元経済界、企業、大学、行政が一体となって、率先導入や魅力の発信、水素ステーションの整備促進に一体的に取り組んでいます。

いよいよ本格発進！次世代の自動車「FCV」



HYDROGENIUSの杉村センター長（水素環境摩擦試験を行う実験室にて）

HYDROGENIUS

世界トップレベルの水素研究の拠点

水素利用技術に関する世界トップレベルの研究者が国内外から結集し、水素脆化（水素により鋼材の強度が低下する現象）などの先端研究を行う



■国立大学法人 九州大学 水素材料先端科学研究センター
福岡市西区元岡744
☎092-802-3924～3926
<http://hydrogenius.kyushu-u.ac.jp/>



NEXT-FCの佐々木センター長（九州大学水素ステーションにて）

NEXT-FC

産学連携で次世代燃料電池を開発

産学連携で、次世代型燃料電池の課題解決、早期実用化を推進する研究拠点施設



■国立大学法人 九州大学 次世代燃料電池産学連携研究センター
福岡市西区元岡744
☎092-802-3303
<http://fc.kyushu-u.ac.jp/>

その他の取り組み

●世界フォーラムの開催



世界トップクラスの水素関連の研究者が福岡・九州大学で最新の研究成果を発表

●燃料電池バス



九州大学、北九州の2つの実証用水素ステーションを用いて、将来の営業利用を想定した走行実証を実施

●福岡水素エネルギー人材育成センター



水素関連の人材を育成する機関としては国内唯一。水素・燃料電池関連企業や新規参入を目指す技術者が対象

北九州・福岡水素タウン



水素エネルギー社会を目で見る形で示すモデル地区

福岡県がその将来性に着目した10年前、まだ未来予想図を描く段階だった水素エネルギー社会。FCVの市場投入という一つの節目を迎えた今、産学官民が連携して、水素・燃料電池の実用化と産業化を福岡からリードしていきます。

「HYDROGENIUS」の杉村センター長は「水素エネルギー研究の世界的な拠点として、当たり前のように安心して水素エネルギーが使える社会の実現に研究面で貢献したい」と話します。また、「NEXT-FC」の佐々木一成センター長は、「水素エネルギー社会の実現には、社会システムそのものの変革が必要です。そのためにも水素を蓄エネに活用する取り組みも進めていきたい」と意欲に燃えます。「HYTRE C」の渡邊正五センター長は「福岡県ならではの環境を生かし、安全性の向上とコスト低減に力を尽くして、地元をはじめ、国内の企業を応援していきたい」と熱く語ります。

このように、水素・燃料電池に関連する一連の最先端専門施設が整い、開発から運用までの取り組みが充実している地域は他になく、福岡県は水素・燃料電池の先進地として世界からも注目されています。

研究開発面で主軸を担ってきた「HYDROGENIUS」の杉村センター長は「水素エネルギー研究の世界的な拠点として、当たり前のように安心して水素エネルギーが使える社会の実現に研究面で貢献したい」と話します。また、「NEXT-FC」の佐々木一成センター長は、「水素エネルギー社会の実現には、社会システムそのものの変革が必要です。そのためにも水素を蓄エネに活用する取り組みも進めていきたい」と意欲に燃えます。「HYTRE C」の渡邊正五センター長は「福岡県ならではの環境を生かし、安全性の向上とコスト低減に力を尽くして、地元をはじめ、国内の企業を応援していきたい」と熱く語ります。

さらに、福岡県では県内企業を対象に、水素関連製品の開発支援や、水素産業への参入支援を行っています。

また、糸島市の住宅地に家庭用燃料電池「エネファーム」150台を集中設置した世界最大規模の「福岡水素タウン」、製鉄所の副生水素を、パイプラインで直接市街地に供給するという世界初のモデル地区「北九州水素タウン」では、実生活で水素を利用する社会実証を展開してきました。さらに、福岡市の九州



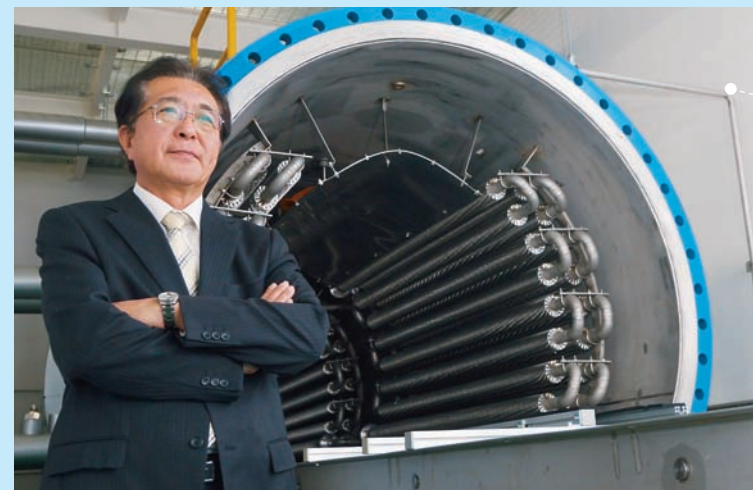
世界最大・最高水準の設備を擁する大型水素容器試験施設「CRADLE棟」



通常値の約4倍もの圧力を加えてようやく破壊された容器。通常の使用における安全性を証明するため、このような破裂実験も行っている



センサー、バルブなどの小型製品から、FCV用のタンク、水素ステーション用のタンク（長さ6m、直径80cm）などの大型製品まで、目的に応じた20の試験室を完備



HyTRE Cの渡邊センター長（「CRADLE棟」の環境温度圧力サイクル試験室にて）

HyTRE C

世界最高水準の水素関連製品の試験機関

2010年3月に開設。水素関連製品の性能評価試験を行う全国初の公的施設。さまざまな水素関連製品の耐久性試験や共同研究開発を通して、中小・ベンチャー企業の新産業への参入を支援する



■公益財団法人 水素エネルギー製品研究試験センター
糸島市電915-1
☎092-321-2911
<http://www.hytre c.jp/>

福岡県は2004年に産学官連携組織である「福岡水素エネルギー戦略会議」を設立し、社会実証、研究開発、産業化などの取り組みを柱とする「福岡水素戦略（HyLifeプロジェクト）」を推進してきました。

研究開発の分野では、九州大学の「水素材料先端科学研究センター（HYDROGENIUS）」と「次世代燃料電池産学連携研究センター（NEXT-FC）」が中心的な役割を担っています。

産業化に向けては、全国初の水素関連製品の公的試験機関である「水素エネルギー製品研究試験センター（HYTRE C）」を2010年に開設。2014年の4月には大型水素貯蔵タンクの試験ができる「CRADLE棟」が完成し、世界最高水準の試験施設を備えた試験機関となりました。

さらに、福岡県では県内企業を対象に、水素関連製品の開発支援や、水素産業への参入支援を行っています。

また、糸島市の住宅地に家庭用燃料電池「エネファーム」150台を集中設置した世界最大規模の「福岡水素タウン」、製鉄所の副生水素を、パイプラインで直接市街地に供給するという世界初のモデル地区「北九州水素タウン」では、実生活で水素を利用する社会実証を展開してきました。さらに、福岡市の九州



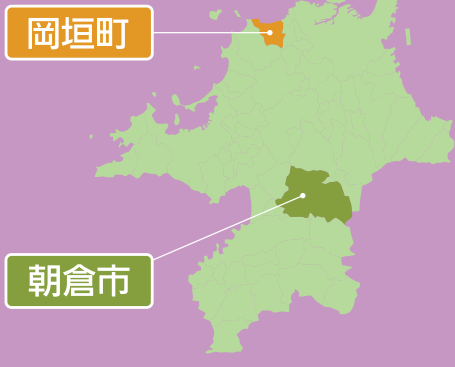
●9月16日、山田堰土地改良区を中心に、県、朝倉市が一体となって登録を目指してきた「山田堰、堀川用水、水車群」が国際かんがい施設遺産（ICID）の「かんがい施設遺産」に登録されました。「三連水車」を前に水土里ネット山田堰（山田堰土地改良区）の皆さんと



●農業遺産として注目を集めている、自然の地形を巧みに利用した「山田堰」は、アフガニスタンにおける用水路のモデルにもなっている

知事の ふるさと 訪問

小川知事が、県内各地
に向き、直接県民の皆
さんと触れ合う「知事の
ふるさと訪問」。
今回は、朝倉市、岡垣町
を訪れ、地域で活躍する
皆さんの声に耳を傾け、
意見を交換しました。



●「こども未来館」では、「ぶくぶくクラブ」の皆さんと一緒に人形劇に挑戦。県広報部長「エコトン」、岡垣町イメージキャラクター「びわりん&びわすけ」も登場

あさくらし 朝倉市

平成26年9月1日



●「三連水車の里あさくら」では、生産者の皆さんと交流



●「原鶴ハーブ公園」で「湯里おこし会」の皆さんと。原鶴温泉キャラクター「つる姫ちゃん」も登場。ハーブを使った加工品の説明を受けた

●「甘木歴史資料館」では、市の無形文化財に指定されている光月流太鼓「秋鼓会」の皆さんの演奏に迎えられた



●「恵蘇八幡宮」で、地域で活動する皆さんと。県広報部長「エコトン」も登場



●「ビーポート甘木」では、有酸素運動と筋力トレーニングを兼ね備えたステップ運動に参加。朝倉市マスコットキャラクター「卑弥呼ちゃん」の姿も



●秋月藩に伝わる砲術の保存・伝承、山田堰・堀川用水などの維持管理、黄金川の美化・保全活動などに取り組まれている皆さんと意見交換

長雨が続く中、ひとときの晴れ間がのぞいた9月1日、小川知事は朝倉市を訪れました。

まず、日本最古の実働する水車として有名な「三連水車」を見学した後、「三連水車の里あさくら」へ。アスパラガスやぶどう、梨などの生産者の皆さんと交流した後、森田俊介市長から市の概要について説明を受け、地域の素材を使った料理を試食しながら懇談しました。

次に、湯里おこし会の皆さんの案内で、「原鶴ハーブ公園」を散策。その後、江戸時代に造られ、今でも現役の「山田堰」を見学した知事は、「恵蘇八幡宮」で百人一首を通じて地域の小学生と交流しました。

続いて訪れた「甘木歴史資料館」では、光月流太鼓「秋鼓会」の演奏を鑑賞。「ビーポート甘木」では、踏み台の昇降を行うステップ運動に参加し、心地よい汗を流しました。

最後は、朝倉市で活躍されている皆さんとの対話です。若い農業者の現状や地産地消の取り組み、地域の自然・文化の継承について意見を交わしました。

自然との共生で 住みよいまちを

天高く秋空の広がる10月16日、小川知事は岡垣町を訪れました。

まず、「観光ステーション北斗七星」へ。宮内實生町長の歓迎のあいさつの後、町の概要について説明を受け、施設内を見学しました。その後、響灘を一望できる展望所へ移動し、三里松原の保全活動について説明を受けた後、黒田二十四騎の一人、井上周防守之房の菩提寺である「龍昌寺」を訪ねました。

児童センターと子育て支援センターの機能を併せ持つ「こども未来館」では、「ぶくぶくクラブ」の皆さんと交流。知事も人形劇に参加するなど、笑顔あふれる交流となりました。

次に訪れた「株式会社セイル・オン」では、新芽野菜の水耕農場を見学。その後、岡垣コミュニティバス「ふれあい」に乗り、「JR海老津駅」へ移動した知事は、駅南側の開発事業や周辺道路の整備について説明を受けました。「岡垣サンリーアイ」では、海と山の幸を生かした観光や6次産業化、松原の保全、男女共同参画の取り組みについて、地元の人々と意見を交わしました。





上野焼

茶人としても知られる豊前小倉藩主・細川忠興が、1602年に朝鮮半島から陶工を招き、開窯。現在は22の窯元が400年以上続く伝統を守り伝えている。緑釉を主体としたうわぐすりによる表情豊かな作品が特長



九州日立マクセル赤煉瓦記念館

1904年ごろに建設された国の登録有形文化財。かつては三菱方城炭鉱坑内に風を送る送風機室だった。見学(平日のみ)は無料だが、前日までに予約が必要



興国寺

7世紀後半の創建とされている、足利尊氏ゆかりの寺。県指定文化財の観音堂や、尊氏が身を隠したと伝わる洞窟などがある



福智町の温泉施設

町内には「ほうじょう温泉 ふじ湯の里」、「ふるさと交流館 日王の湯」、「あがの温泉 白糸の湯」の3カ所の温泉施設があり、ゆったりとお湯につかった後は食事にも楽しめる



定禅寺の藤

定禅寺の境内にある樹齢500年以上の藤は県指定天然記念物であり、町花としても親しまれている。毎年4月29日には「藤まつり」が開催される

きらめきマイタウン



福智町

福智山

町名の由来にもなった標高901mの山。遠くは英彦山や背振の山影、東に周防灘、西に玄界灘を見渡せる眺望や、エドヒガンの花見などが楽しめ、登山者を中心に人気。冬には雪化粧した姿が見られる

福智町

■問い合わせ

福智町役場
田川郡福智町金田937-2
☎0947-22-0555
<http://www.town.fukuchi.lg.jp/>

自然と歴史が
人をつなぐまち

福岡県の中部に位置する福智町は、平成18年に旧赤池町・旧金田町・旧方城町の三町が合併して誕生。現在、約2万4千人が暮らしています。

町のシンボルは、福智山と彦山川。福智山の中腹には樹齢600年を越える一本桜「虎尾桜」、麓には400年以上の伝統を守る上野焼の窯元が点在し、豊かな自然と歴史が人の絆や文化を紡いできました。

また、「うれしいひなまつり」など千曲以上の童謡を作曲した河村光陽の生誕地としても知られています。

平成筑豊鉄道株式会社

山越え谷越え
ひた走る
地域鉄道



「平成筑豊鉄道株式会社」企画課長の石松祥宏さん(写真左)と係長の波多野淳一さん

平成元年10月、廃線予定だった旧国鉄のローカル線を引き継ぎ、開業した「平成筑豊鉄道」。「へいちく」の愛称で地元の人に親しまれ、昨年2月、25周年を迎えました。

企画課長の石松祥宏さんは「中学生の職場体験の受け入れや、人気のクリスマス列車運行などのイベントを通して、へいちくに親しんで利用してもらえるようにがんばっています」と話します。

少子化などによる乗客数の減少などの課題を抱えながらも、地域の学生や車を持たないシニア層の足として、地元には欠かせない存在のへいちくは、利用客の増加を目指して、日々奮闘しています。

10月からは、沿線地域のお宅を一軒一軒訪問してのPR活動もスタート。地域の人の応援を励みに、一步一步前に進みます。



①伊田線直方～金田間は、鉄道開業から2014年で120周年を迎えた ②福智町、JAL、トヨタ九州と連携し、今年で3回目の開催となった「のりものフェスタ」。金田駅では車両を5両連結し「のりものマルシェ」を開催。約5000人の来場客でにぎわった ③カレンダー(500円)やオリジナルキャラクター「ちくまる」グッズも好評販売中

福智ブランドファクトリー

地元の素材を
誇れる
特産品に



「福智ブランドファクトリー」代表理事の中村隆さんと製造販売スタッフの皆さん

オシャレなパッケージが目を引く「ふくち☆リッチジェラート」。商品を開発したのは、町役場とシェフや寿司職人など町の有識者で構成された特産品開発委員会です。

「原料の確保や1個320円という値段など課題はありますが、今後は今まで商品化までいかなかった赤池梨やフルーツ以外の新作も考えたい」と、地元の素材にこだわった商品づくりに挑み続けています。

「ナシやイチゴなど地元産の加工用フルーツを使ったジェラートを作りたいと町役場から話があり、平成23年にみんなで作り上げました。その商品の販売やPRを担うのが『福智ブランドファクトリー』です」と話すのは、代表理事の中村隆さん。完成した4種類は平成25年9月から販売され、筑豊地域の飲食店やコンビニなど約30カ所です。1万5千個を売り上げました。

「原料の確保や1個320円という値段など課題はありますが、今後は今まで商品化までいかなかった赤池梨やフルーツ以外の新作も考えたい」と、地元の素材にこだわった商品づくりに挑み続けています。



①「あまおう苺みるく」、「いちじく赤ワイン煮」のほか、地元の卵を使って「NPO法人博多ミラベル21」のシェフたちが監修した「カタラーナ」など現在5種類を販売。素材のフレッシュ感となめらかな舌触りが好評 ②町のイベント「福智スイーツ大茶会」では、2日間で1000個を完売した



金田稲荷神社一区獅子保存会

子から孫へ
受け継がれる
伝統芸能



副代表の田中仁史さん(写真中央)ら「金田稲荷神社一区獅子保存会」の皆さん

1200年の歴史を持つ稲荷神社の氏子である金田一区の町民によって代々引き継がれてきた「金田稲荷神社一区獅子保存会」。町一番の祭りである秋の神幸祭で、「獅子舞」といわれる魔よけの獅子舞を奉納しています。

踊りで華を添えます。小学生の頃から30年以上、舞手を務める副代表の田中仁史さんは「歴史ある伝統芸能を私たちの代で絶やさないようにと、使命感に燃えています」と語り、後継者の育成にも励んでいます。

メンバーは子どもから年輩者まで50人ほど。雌雄2体の獅子頭を操る舞手は、経験年数が30年程度の中堅メンバー。舞の最中は子どもたちの

県内の芸能祭に参加するなど、獅子舞を伝え広げる活動にも熱心な保存会の皆さん。躍動感ある舞には、熱い思いがみなぎります。



①町指定無形民俗文化財に指定されている獅子祭 ②神幸祭は、山笠とともに毎年10月の第三土曜・日曜に行われる ③神幸祭が行われる稲荷神社。戦国時代、御神体をイチョウの根元に埋めて難を逃れたという言い伝えがある

虎尾桜を心配する世話人会

樹齢600年
県内最古の
一本桜を支える会



会長の小林省吾さん(写真下段右から2人目)ら「虎尾桜を心配する世話人会」の皆さん。虎尾桜の曲を作った「福智炎運太鼓」の十代の若者たちも所属する

福智山の中腹で、緋色の見事な花を咲かせ、春を告げる推定樹齢600年の一本桜。「虎尾桜」と呼ばれ、年間5千人が訪れます。26年前、枯死寸前の老桜を発見したのは、小林省吾さんと現在の会の仲間でした。

認されていたいなかった、エドヒガンのという希少種だと判明しました。それで、平成2年に7人で「虎尾桜を心配する世話人会」を立ち上げました。今では会員数も37人。登山家や上野焼の窯元など自然を愛する人たちが加わり、有機肥料をまいたり、ワイヤーで幹を支えるなど、保護活動に尽力してきました。これから

「早急な保護が必要」と思い、枝先を持ち帰って、福岡県環境教育アドバイザーの熊谷信孝さんに調査を依頼したところ、当時県内では一本しか確

も毎春の開花を願いながら、虎尾桜を見守ります。



①県内最大で最古のエドヒガン「虎尾桜」(樹高23m、幹周り3.83m)。山腹には「源平桜」など50本ほどの同種の桜が点在するという ②最初はコケやシダが幹を覆い、枯死寸前だった ③毎年春先には、花見客のために登山道を整備する



宗像の 三女神

文〃安部龍太郎

福岡の歴史遺産を作家・安部龍太郎さんが巡る連載。

シリーズ第3回は、舞台を古代に。

いにしえに起源を持つ宗像大社の海上神事・みあれ祭に

海の民が営々と継承してきた祈りの姿を訪ねました。

「みあれ祭」では、普段は分かれて鎮座する宗像三女神が一堂に会する。9月中旬に大島の中津宮にお迎えした沖ノ島・沖津宮の田心姫神と、中津宮の湍津姫神が10月1日の早朝に御座船に乗り、市杵島姫神が待つ神湊へ、船団に見守られながら向かう

Profile

あべりゅうたろう

昭和30年、福岡県八女市生まれ。平成2年、『血の日本史』でデビュー。平成17年、『天馬、翔ける』で中山義秀文学賞を受賞。平成25年、『等伯』で第148回直木賞を受賞。他の著作に、『関ヶ原連判状』、『信長燃ゆ』などがある。

「乗組員の暮らしと命は預かつとるけん、沖で決断すつ時は足の震ゆつとよ」

そう語った青年は今年、御座船の船長という大役をつとめている。

「昔や、アミ（※1）ば追ってき
たブリが、海面に押し合いへし合
いしよった。そりば鉤（※2）で
引っかけて好きだけ獲りよった。
近頃は魚の獲れんことなつた
けん、今の若かもんは気の毒か」
港の長老が日焼けした顔にう
れいを浮かべた。

海に生き、海に生かされてき
た宗像の男たち。その営みを何
千年にもわたって見守りつづけ
てきたのが、沖ノ島の田心姫神、
大島の湍津姫神、そして宗像辺
津宮の市杵島姫神の三女神で
ある。

十月一日、年に一度、三女神が
一堂に会するみあれ祭が行なわ
れた。早朝、大島の中津宮をでた
田心姫神と湍津姫神の御輿は、
港で待つ御座船に鎮座して市杵
島姫神の待つ神湊に向かう。宗
像七浦から駆けつけた百二十余
艘の船が供奉し、御神旗を高々
とかかげて海を走る。

大社のお計らいで御座船に乗
せていただいた。前夜の風のせい
でうねりが強かったが、神々の
波を切って進む船の姿が、そ
の足取りをまざまざと感じさせ
てくれたのである。

人々が本土から遠く離れた沖
ノ島に五千年ちかく前から渡つて
いたことは、島に残る遺跡によつ
て確認されている。宗像市や福津
市にある数多くの古墳は、この地
に畿内の豪族と肩を並べるほど
勢力のある一族が住んで、一世紀
頃から朝鮮半島との交易に従事
していたことを伝えてくれる。

その営みを支えたのは、宗像
三女神への篤い信仰である。み
あれ祭に集った人たちの顔に
は、神々を祭る誇りと喜びがあ
ふれていた。

※1アミ…オキアミのこと。エビに似た体長1cmほどの甲殻類で、ブリなどの大型魚類の餌となる
※2鉤……金属製の曲がった先端が付いている漁具

宗像・福津の、見どころをゆく

ガイド付き観光馬車でも
楽しめる古墳群

福津市



新原・奴山古墳群

古代の地方豪族「宗像氏」一族の墓と考えられる古墳群。5基の前方後円墳を含む41基の古墳が田園風景の中に点在している。事前に申し込み、**「つやざき観光馬車」**による古墳巡りも楽しめる。

📍 福津市勝浦・奴山
《古墳群》☎ 0940-52-4968(福津市教育総務課)
《馬車》☎ 0940-51-1292(つやざき観光馬車)

玄界灘産の天然真鯛を
アツアツのご飯と一緒に

福津市



鯛茶づけ

天然真鯛の漁獲量が全国トップクラスの福岡県。福津市では玄界灘産の天然真鯛をお茶づけで味わう**「鯛茶づけ」**がご当地グルメとして人気を集めている。毎年5～6月開催の**「鯛茶づけフェア」**協賛各店では、天然真鯛をぜいたくに使い、趣向を凝らして提供している。

📍 福津市商工観光課
☎ 0940-52-4951

新鮮な魚介類が毎朝入荷
地元の漁師料理も自慢

宗像市



道の駅むなかた

福岡市と北九州市を結ぶ国道495号沿線にあり、白砂青松100選の**「さつき松原」**に隣接して、玄界灘が一望できる。毎朝入荷する新鮮な地元農産物や魚介類が所狭しと並び、漁師料理も味わえる。全国の道の駅でもトップクラスの売り上げを誇る。

📍 宗像市江口1172
☎ 0940-62-2715

鶏のうまみあふれる
味わい深い郷土料理

宗像市



鶏のすき焼き

宗像エリアで「すき焼き」といえば、牛肉ではなく鶏肉。昔は多くの家庭で鶏を飼っていて、来客時にもてなしで出したという郷土料理は、地元の鶏料理店で味わえる。しょうゆと砂糖の甘辛さと鶏のまろやかなうまみの相性の良さに、思わず箸が進む。

📍 宗像市商工観光課
☎ 0940-36-0037

宗像神をまつる
全国約6200社の総本社

宗像市



宗像大社 辺津宮

沖ノ島の沖津宮、大島の中津宮を合わせた三宮からなる「宗像大社」の総社で、多くの祭祀もこの辺津宮を拠点に行われる。「平成ノ大造宮」で、辺津宮の本殿は平成26年12月まで修復中。神宝館には沖ノ島の出土品が数多く所蔵、展示されている。

📍 宗像市田島2331
☎ 0940-62-1311(宗像大社社務所)

フェリーに乗って訪ねたい
七夕伝説の地

宗像市



宗像大社 中津宮

大島の渡船ターミナルから徒歩5分程の場所にある。拝殿の脇から石段を降りると「**天真名井**」と呼ばれる清水が湧いており、これが境内入口へと流れて「**天の川**」と呼ばれる。この天の川を挟んで牽牛社、織女社が祀られており、七夕伝説発祥の地とも言われる。

📍 宗像市大島1811
☎ 0940-72-2007(宗像大社中津宮)



沖津宮

約400段の苔むした石段を上った山の
中腹に鎮座する沖津宮社殿

北部九州と朝鮮半島を結ぶ海路の中ほどに、その全域が御神体とされる「沖ノ島」があります。福岡県・宗像市・福津市は、この島をはじめとする「宗像・沖ノ島と関連遺産群」の世界遺産登録を目指しています。沖ノ島では4世紀後半から約500年間、国家の安泰と対外交流の成就を願う国家的祭祀が行われてきました。その祭祀遺跡から出土した約8万点の奉獻品は全て国宝で、沖ノ島は「海の正倉院」とも称されます。

宗像地域の朝鮮半島へ向かう海路の安全をつかさどるのは宗像三女神(※1)。天照大神からの神勅(※2)を受け、今も宗像の地に鎮座しています。

沖ノ島は入島が厳しく制限されています。宗像大社の外周は、岩が切り立つ断崖絶壁。沖津宮に続く道も畏敬の念を自然に抱かせるように険しいといえます。神宿る島にふさわしく禁忌(※3)も多く、「一木一草一石たりとも島から持ち出してはならない」「島で見聞きしたものは、一切口外してはならない(「不言様」という)」など、さまざまな決まり事が現在まで受け継がれています。



沖津宮遙拝所
晴れて見晴らしのよい日には、約50km先の沖ノ島を望むことができます

神の島沖ノ島



奈良三彩小壺
(国宝)

沖ノ島からの出土品。宗像大社辺津宮の「神宝館」で見ることができる



金製指輪
(国宝)

神宿る島と、 海の民が遺したもの



高宮祭場
宗像三女神の降臨地と言われ、古代の神への祈りの姿を今に伝える

海をみつめて眠る 宗像氏

古代、沖ノ島の祭祀をつかさどり、宗像地域一帯を統治していたとされるのが「宗像氏」です。この地方豪族の墓とされるのが新原・奴山古墳群。5世紀から6世紀後半にかけて、前方後円墳、円墳、方墳の計41基の古墳が海を臨む場所に築造されており、宗像周辺の海を舞台に活躍し、沖ノ島祭祀を担った一族を象徴するものとして、「宗像・沖ノ島と関連遺産群」の構成資産となっています。

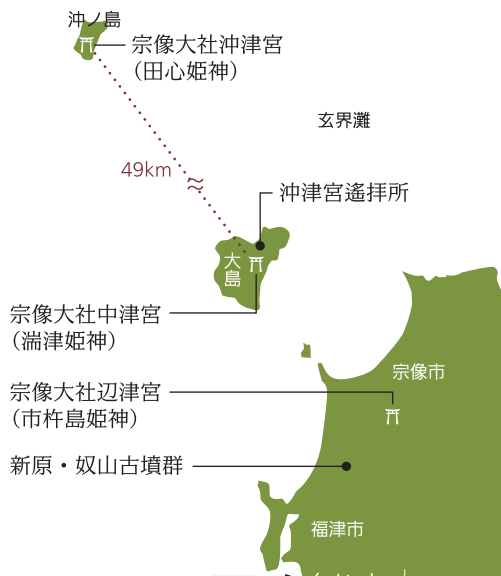
福津市の「あんずの里運動公園」展望台から見渡せば、大島を真正面に、その先に沖ノ島を抱く海を望みながら今も眠る宗像氏に遠く思いをはせることができます。



新原・奴山古墳群
津屋崎古墳群の中で最も多くの古墳が密集している

■ 世界遺産登録までの流れ

「宗像・沖ノ島と関連遺産群」は、2009年1月5日に、ユネスコの世界遺産暫定リストに記載されています。この後、国内選考を経て、政府によるユネスコ世界遺産センターへの推薦書の提出、ユネスコの諮問機関であるイコモス(国際記念物遺跡会議)の現地調査・報告の後、世界遺産委員会の最終審議を経て、世界遺産登録の可否が決定されます。



■ 監修：河野俊行(九州大学 法学研究院 国際関係法学部門 教授)

ユネスコの無形遺産条約の起草専門家会合、引き続き文化多様性条約の起草専門家会合のメンバー。2011年秋から国際イコモス執行委員に選出され、2014年11月には同副会長に就任。ユネスコ世界遺産審査に携わっている。

地域のチカラ

福岡県では、地域住民や地域づくり団体、NPO、市町村などと協働して、さまざまな地域資源を生かした地域振興プロジェクトを進めています。
このコーナーでは、そんなプロジェクトを通じて、地域の未来をつくる元気な人々をご紹介します。

まち人もみんなで
一緒に育って
いきたいですね

ちくごは自然も
人も伸びやか。
創作が進みます

ものづくりの視点から
地元の価値を
高めていけたら

地元のひとと
知り合えるように
まずはまち案内から

定住につながるように
細やかな
要望に応えます



筑後市役所
松永俊さん

九州芸文館
小川徹也さん

体験居住中の
アーティスト
宮崎大樹さん

久留米絃工房
かすり西原
西原俊明さん

福岡R不動産
坂田賢治さん

を学ぶ体験型のサポートプログラムなど、体験居住者が移住しやすい環境づくりに力を注いでいます。
そうした中、筑後市では、県の芸術文化交流施設「九州芸文館」と市内の

3年からは広報誌の製作委託や木工や酒造りのスキル

魅力を生かそうと2011年から始めたのが「ちくご定住促進プロジェクト」。これまでに200組以上の応募があり、昨年までに体験居住した61組のうち、8組が移住を決めています。一方で、「仕事を見つけてくるのが難しい」といった移住への課題も明らかに。このため、2013年からは広報誌の製作委託や木工や酒造りのスキル

筑後川や耳納連山などの豊かな自然に恵まれた筑後地域。おいしい農産物や食文化があり、ものづくりやアートも盛んです。こうした地域の

体験居住で移住希望者を後押し 「ちくご定住促進プロジェクト」

筑後ネットワーク田園都市圏構想

Vol. 3

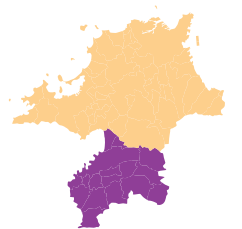


柳川市では、海外の銀行勤務を経て、神棚づくり修行に挑戦する人も。一人前になるには数年かかるが、師匠の熱心な指導のもと、伝統の技を身に付けるべく頑張っている

実際に働きながら住みやすさを体感してもらう「ちくご定住促進プロジェクト」。暮らす人の思いと創意工夫で、地域の可能性をさらに広げています。

九州芸文館の小川徹也さんも「筑後は歴史的に見ても、クリエイティブな力を持つ地域。移住希望者との良い関係づくりが新たな定住につながり、筑後地域全体がより豊かになっていくのでは」と語ります。
実際に働きながら住みやすさを体感してもらう「ちくご定住促進プロジェクト」。暮らす人の思いと創意工夫で、地域の可能性をさらに広げています。

久留米絃工房、アドバイザー役の「福岡R不動産」と連携し、体験居住するアーティストによる「久留米絃」をモチーフにした現代アート作品の制作や九州芸文館での展示・発表、住民との交流などを行っています。



21世紀を担う子どもたちが筑後地域に集い、地域の個性を生かしたプログラムを通じて体験し、遊び、学ぶ「ちくご子どもキャンパス」



「観光魅力発信プロジェクト」では、筑後各地へのツアーを通じて都市圏に住む人々に筑後地域の魅力を伝えている

筑後ネットワーク田園都市圏構想

平成16年に、筑後地域12市町（天牟田市、久留米市、柳川市、八女市、筑後市、大川市、小郡市、うきは市、みやま市、大刀洗町、大木町、広川町）と福岡県が一体となって発足。「豊かさ」と「ゆとり」をテーマに、定住促進、観光、IT、教育と子育て、スローフードなどを柱としたさまざまな地域活性化プロジェクトに取り組んでいる。

福岡県立美術館

コレクション展連続企画2014-15 第1弾 特集:福岡の近代洋画

福岡県は、児島善三郎や坂本繁二郎をはじめ、多くの著名な洋画家を輩出しています。本展では、福岡県立美術館が開館30周年を迎える2015年へ向けてのコレクション展連続企画の第1弾として、福岡ゆかりの作家の近代洋画を特集します。

児島善三郎
「代々木の原」
昭和9(1934)年
当館蔵



会期中のイベント

- 学芸員によるギャラリートーク:土曜日14時～(講演会の日を除く)
- 講演会:12月13日(土)、1月24日(土)両日とも14時～

会期 11月29日(土)～平成27年2月1日(日)

開館時間 10時～18時(入場は17時30分まで)

休館日 月曜日(月曜が祝休日の場合は翌平日)、
年末年始(12月28日～1月4日) ※ただし、12月22日(月)は開館。

観覧料 一般 210円(160円)
高大生 140円(100円)、小中生 60円(50円)
※()内は20人以上の団体料金

交通アクセス

- ◎市営地下鉄天神駅下車 徒歩10分
- ◎西鉄バス「天神北」下車 徒歩5分、「市民会館前」下車 徒歩2分
- ◎西鉄大牟田線 福岡駅下車 徒歩15分

問い合わせ 福岡県立美術館
福岡市中央区天神5-2-1(須崎公園内) ☎092-715-3551
<http://fukuoka-kenbi.jp/>

九州芸文館

市民参加型展覧会 2000年後のピラミッドー 柴川敏之展

「2000年後に発掘された現代社会」をテーマに制作活動を行う美術家の柴川敏之が市民と共に作り上げる展覧会です。隈研吾が設計した九州芸文館を、「2000年後のピラミッド」に見立て、2000年後に発掘された携帯電話やパソコンなどの化石作品、市民と共にワークショップで制作する作品、市民のお宝、福岡県立美術館の所蔵品などを合わせて展示します。



会期中のイベント

- 学芸員によるギャラリートーク:土曜日14時～
- 作家本人によるアーティストトーク:12月23日(火・祝)13時～
- ワークショップ「2000年後の化石をつくろう」(仮):1月10日(土)11時～
- 館内の「カフェレストラン ななつ星」で、本展関連メニューを限定販売! ～「2000年後の発掘井」(仮)、「地層パフェ」(仮)など

会期 12月23日(火・祝)～平成27年2月15日(日)

観覧時間 10時～17時

休館日 月曜日(月曜が祝休日の場合は翌平日)、
年末年始(12月29日～1月3日)

観覧料 無料

交通アクセス

- ◎九州新幹線・JR鹿児島本線 筑後船小屋駅下車 徒歩1分
- ◎九州自動車道 八女ICから車で10分

問い合わせ 九州芸文館(筑後広域公園芸術文化交流施設)
筑後市津島1131 ☎0942-52-6435
<https://www.kyushu-geibun.jp/>

九州国立博物館

特別展 古代日本と百済の交流 一大宰府・飛鳥そして公州・扶餘ー

太宰府の地に、百済から渡来した技術によって水城や大野城が築造されてから1350年。節目を迎えるこの年に、国宝七支刀をはじめ、古墳時代から飛鳥時代にかけての百済と古代日本との深いつながりを示す文物の数々をご紹介します。長きにわたる交流の歴史をたどります。また、全国で毎年8,000件といわれる発掘調査の最新の成果を紹介する特別展「日本発掘ー発掘された日本列島2014ー」を同時開催します。

国宝 七支刀
古墳時代・4世紀
奈良・石上神宮
展示期間:
1月15日～2月15日



会期 平成27年1月1日(木・祝)～3月1日(日)

開館時間 9時30分～17時(入館は16時30分まで)

休館日 月曜日(月曜が祝休日の場合は翌平日)

観覧料 一般 1,400円(1,200円)
高大生 1,000円(800円)、小中生 600円(400円)
※()内は前売り・20人以上の団体料金

交通アクセス

◎西鉄太宰府駅から徒歩約10分

駐車場の空き状況及び周辺道路の状況はこちら



問い合わせ 九州国立博物館
太宰府市石坂4-7-2 ☎050-5542-8600 (NTTハローダイヤル)
<http://www.kyuhaku.jp/>

福岡県広報

の
ごあんない

●テレビ番組
KBC「ふくおか暮らしに+」
毎週金曜日 14時～14時04分

FBS「ふくおか新発見」
毎週土曜日 16時55分～17時

TNC
「ふくおかにリンク(LinQ)」
毎週日曜日 8時55分～9時

●ラジオ番組
FM福岡「福岡県だより」
毎週月・木曜日 9時35分～9時40分

●世帯向け広報紙
「福岡県だより」奇数月に発行

●新聞
「福岡県からのお知らせ」
偶数月の第3日曜日の新聞にお知らせ掲載

●インターネット
福岡県ホームページ
<http://www.pref.fukuoka.lg.jp/>

ふくおかインターネットテレビ
<http://webtv.pref.fukuoka.lg.jp/>

Twitter

アカウント ●名 前…福岡県庁
●ユーザー名…@Pref_Fukuoka
https://twitter.com/Pref_Fukuoka



祝！3年ぶりの日本一

福岡ソフトバンクホークスが阪神タイガースとの日本シリーズを制し、3年ぶりの日本一に輝きました。レギュラーシーズン終盤戦から日本シリーズ制覇まで、手に汗握るゲームが続きましたが、その勇姿は県民に大きな感動と元気を与えてくれました。県ではその功績をたたえ、11月24日に行われた「ファンフェスティバル2014」で表彰状を授与しました。



「大関魁皇」の功績をたたえ後世に

史上最多の1047勝をはじめ数々の記録を残した元大関魁皇（現 浅香山親方）の功績をたたえ、後世に伝えるために建立された「大関魁皇」像が10月26日の建立記念式典・除幕式で披露され、JR直方駅前には多くのファンが詰めかけました。大関魁皇銅像建立委員会名誉顧問の小川知事は、式典で「この銅像が直方市の新たなシンボルとして、多くの市民、県民の皆さんに愛され続けていくと思います」とあいさつしました。



第1回市町村対抗「福岡駅伝」

11月16日、県営筑後広域公園で第1回市町村対抗「福岡駅伝」を開催しました。代表選手たちは、たくさんの声援を励みに懸命にたすきをつなぎ、ゴールを目指しました。1区からトップに立ち続けた北九州市が見事な優勝を飾りました。当日は、スポーツを通して健康や地域を考え、食を楽しみ、交流を深めるためのさまざまなイベントも同時開催され、たくさんの来場者でにぎわいました。



女性農業者の活躍を応援

女性農業者は、女性の視点を生かした経営で地域の活性化にも大きな役割を果たしています。11月12日、女性農業者の活躍をさらに推進するため、春日市で「女性農業者の大活躍大会2014」を開催しました。女性農業者による講演やパネルディスカッションのほか、手作りの野菜ジャムなど女性農業者が開発した加工品の展示・試食も行われ、好評を博していました。



全国初！事前キャンプ地内定

スウェーデンオリンピックチームが、2020年東京オリンピック競技大会の事前キャンプを福岡市で実施することを内定し、10月8日、同国オリンピック委員会と福岡県、福岡市との間でLOI（基本合意書）に合同調印しました。事前キャンプ地の内定は全国初となります。県では、引き続き、キャンプ地の受け入れを進める市町村と連携し、誘致を推進していきます。



がん征圧への決意を新たに

9月5日、福岡市で「がん征圧のさらなる決意～アジアの中心・福岡から～」をテーマに「2014年度がん征圧全国大会」が開催され、全国各地からの参加者はがん征圧への決意を新たにしました。県では、県民の皆さんが健やかで心豊かに過ごし、長生きして良かったと実感できるよう、がん対策を最重要課題の一つと位置付け、がん予防やがん検診受診率の向上に向けた取り組みを推進していきます。



暴力追放福岡県民大会

県では、全国に先駆け暴力団排除条例を制定し、「暴力団の資金源遮断」と「青少年の暴力団への加入阻止」による暴力団を許さない社会づくりを推進しています。11月18日、福岡市で「第23回暴力追放福岡県民大会」が開催され、小川知事は暴力追放の断固たる決意を表明しました。約1500人の参加者は、警察・行政・事業者・県民が一体となった暴力団排除のさらなる推進について誓いを新たにしました。



北原早生をPR

福岡ミカン「北原早生」のおいしさを多くの人に知っていただくため、10月23日、小川知事が東京都中央卸売市場でトップセールスを行いました。知事は「北原早生は、糖度が高くてとてもおいしく、色も鮮やかな自慢のミカンです。福岡県の農家が丹精を込めて育てた北原早生を一人でも多くの皆さんに召し上がっていただきたい」と自ら試食品を手渡しなど、その魅力を積極的にPRしました。



常任委員会

常任委員会は、その所管に属する県の事務に関する調査及び議案、請願等を審査するため設置されています。本県議会では、総務企画地域振興、厚生労働環境、新社会推進商工、農林水産、県土整備、建築都市、文教、警察の8つの常任委員会が設置されています。今回は次の2つの委員会を紹介いたします。

文教委員会

【委員会の開催状況】

平成26年10月1日に開催した委員会では、「福岡県公の施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について」の議案の審査や「平成27年度県立高等学校入学定員について」、「平成25年度公立大学法人の業務実績評価結果について」などを議題として質疑を行いました。

【視察・調査の状況】

平成26年11月10日から12日にかけて、秋田城跡、公立大学法人国際教養大学、秋田県教育委員会、秋田県立博物館（以上秋田県）を視察しました。またそのほか、所管にかかる視察・調査を随時行っています。



「公立大学法人国際教養大学」を視察(平成26年11月11日)

警察委員会

【委員会の開催状況】

平成26年10月1日に開催した委員会では、「福岡県風俗案内業の規制に関する条例の一部を改正する条例の制定について」、「福岡県暴力団排除条例の一部を改正する条例の制定について」の2件の議案の審査や「藤會の取締り状況について」を議題として質疑を行いました。

【視察・調査の状況】

平成26年11月10日から12日にかけて、自動車安全運転センター安全運転中央研修所、常陸多賀駅前環状交差点（以上茨城県）、東日本大震災後の警察活動（福島県）、警察博物館（東京都）などを視察しました。またそのほか、所管にかかる視察・調査を随時行っています。



「警察博物館」を視察(平成26年11月12日)

調査特別委員会

調査特別委員会は、特定の案件を審査又は調査するため、必要に応じて設置されます。本県議会では、現在6つの調査特別委員会が設置されています。今回は次の2つの委員会を紹介いたします。

空港対策調査特別委員会

【委員会の開催状況】

平成26年11月20日に開催した委員会では、「福岡県の空港の将来構想等について」を議題として質疑を行いました。

【視察・調査の状況】

平成26年11月17日から19日にかけて、県営名古屋空港、三菱重工名古屋航空宇宙システム製作所小牧南工場、愛知県議会（以上愛知県）、ピーチ・アビエーション株式会社（大阪府）を視察しました。またそのほか、所管にかかる視察・調査を随時行っています。



「三菱重工名古屋航空宇宙システム製作所小牧南工場」を視察(平成26年11月18日)

少子・高齢化社会対策調査特別委員会

【委員会の開催状況】

平成26年11月21日に開催した委員会では、「新たな次世代育成支援行動計画の策定について」、「ロコモティブシンドローム予防の普及啓発について」を議題として質疑を行いました。

【視察・調査の状況】

平成26年8月27日から29日にかけて、富山県南砺市議会、富山県砺波厚生センター（以上富山県）、坂井地区医師会館、福井県議会（以上福井県）を視察しました。またそのほか、所管にかかる視察・調査を随時行っています。



「坂井地区医師会館」を視察(平成26年8月28日)

問い合わせ

福岡県議会事務局 調査課 TEL 092-643-3832 FAX 092-643-3825
※福岡県議会ホームページでは、議員紹介、本会議情報、委員会情報等の掲載のほか、会議録の検索と閲覧、議会中継を実施しています。

福岡県議会ホームページ <http://www.gikai.pref.fukuoka.lg.jp/>
携帯電話向けサイト <http://www.gikai.pref.fukuoka.lg.jp/m>

PC版 →



携帯電話版 →



県議会の動き

県議会の最近の取り組みについて、その一部を紹介します。

決算特別委員会の審査概要

本年9月の定例会において設置された決算特別委員会では、付託された「平成25年度福岡県一般会計決算」など20件の議案について、9日間の日程で審査が行われました。

【審査の概要】

審査に当たっては、二元代表制の趣旨を踏まえ、県政の重要課題を中心に活発な議論が交わされました。主な内容は次のとおりです。

- 土砂災害対策（避難場所や避難方法の住民への周知など）
 - 原子力災害対策（玄海原子力発電所での災害を想定した避難計画など）
 - 福岡空港問題（将来構想、運営の民間委託）
 - 地方創生（財政力の弱い市町村における地方創生の推進）
 - 筑豊電気鉄道延伸に伴う県の支援
 - 生活習慣病の予防
 - 環境問題（産業廃棄物処理施設に対する県の指導など）
 - 青少年育成への取り組み（青少年プランの進捗管理）
 - 高齢者の支援サービス（運転免許証返納者への支援）
 - 雇用問題（筑豊地域の雇用促進）
 - 子育て支援（認定こども園にかかる県の取り組み）
 - 農業問題（中山間地農業・都市農業・種子生産農業への支援）
 - 自動車産業の振興
 - 道路対策（緊急輸送道路の整備）
 - 空き家対策（防災・防犯などの生活環境上の問題）
 - 教育問題（特別支援学校の教室不足の解消、子どものネット依存対策、代々木ゼミナール小倉校の撤退）
- このほかにも種々質疑が行われ、建設的な意見、要望などがなされました。

中国・江蘇省 人民代表大会常務委員会友好代表团

11月20日、本県議会と友好交流を続けている中国・江蘇省人民代表大会常務委員会友好代表団の皆さんが、県議会を4年ぶりに訪問され、正副議長や各会派の代表者、福岡県日中友好議員連盟会長らがお迎えしました。

加地邦雄議長は、「江蘇省と福岡県は、1992年の友好提携締結以来、行政や議会だけでなく、経済・文化・環境・スポーツと、さまざまな分野で交流を拡大し、極めて友好的な協力関係を構築・発展させてきました。今後も、江蘇省人民代表大会と福岡県議会の素晴らしい関係を築いていきたい」と歓迎のあいさつを述べ、代表団の郭敏文団長は、「両



省県の交流は、江蘇省の国際交流の模範となっており高く評価されています。これからも友好の絆を深めていきたい」とあいさつされました。

代表団は、承天寺・東長寺などの博多文化遺産、海の中道奈多海水淡水化センター、北九州エコタウンなどの施設を視察されました。

【審査の結果】

付託された20件の議案について、委員会の最終日に採決が行われ、いずれの議案も原案のとおり認定されました。

同委員会の構成メンバーは次のとおりです。

- ◎松尾 統章 ○佐々木 徹 松尾 嘉三 香原 勝司
板橋 聡 津田 公治 平井 一三 塩川 秀敏
秋田 章二 井上 順吾 樋口 明 吉松 源昭
江藤 秀之 長 裕海 原口 剣生 井本 邦彦
原中 誠志 中村 誠治 野村 陽一 川崎 俊丸
原竹 岩海 新村 雅彦 富田 徳二 大塚 勝利
浜崎 達也 上岡 孝生 田中 正勝 堀 大助
神崎 聡 吉武 邦彦 西元 健
- （◎印は委員長、○印は副委員長）



決算特別委員会の審査風景

九州八県赤十字大会の開催

11月13日、常陸宮妃殿下のご臨席を仰ぎ、「平成26年度九州八県赤十字大会」が福岡市内で開催され、加地邦雄議長が来賓として出席しました。

大会では、日本赤十字社に功労があつた方々に対し、日本赤十字社名誉副総裁の常陸宮妃殿下から有功章の授与などが行われました。

加地議長は、表彰された方々に対しお祝いを申し上げるとともに「世界各地では、頻繁な災害発生により、多くの人々が日々の生活に困窮する状態が生じており、国の内外から日本赤十字社に寄せられる期待はますます大きくなっています。今後も皆さま方の一層のご活躍を心よりご期待申し上げます」と祝辞を述べました。



有功章授与の様子

内閣総理大臣と 都道府県議会議長との懇談会

9月16日、内閣総理大臣と都道府県議会議長との懇談会が内閣総理大臣官邸で行われ、本県議会から加地邦雄議長が出席しました。

安倍晋三内閣総理大臣は、「豊かで明るく元気な地方の創生は、安倍内閣の最重要課題です。個性と魅力あふれる地方の創生に向け、積極果敢にチャレンジしていきたい」とあいさつされ、全国都道府県議会議長会の林正夫会長（広島県議会議長）は、「地域の実情に応じ、地方の責任と創意による対策を講じるよう、われわれ地方も全力で取り組みますので、引き続き、ご支援・ご協力をお願いします」とあいさつされました。

懇談会には、政府側から安倍内閣総理大臣のほか、世耕弘成内閣官房副長官、石破茂地方創生担当大臣、高市早苗総務大臣、二之湯智総務副大臣、あかま二郎総務大臣政務官が出席され、全国から集まった議長と、地方創生の実現に向けた課題などについて意見交換が行われました。



最前列左から、高市大臣、安倍総理大臣、林会長、石破大臣
最上段中央、加地議長

福岡県酒類鑑評会の開催

9月2日、福岡市内で開催された「第3回福岡県酒類鑑評会・ふくさけ祭り」に加地邦雄議長が出席し、清酒4部門、本格焼酎4部門において優れた評価がなされた銘柄、蔵元に対し、福岡県議会議長賞を授与しました。

この鑑評会は、県内で製造される清酒および本格焼酎の品質向上を図り、その魅力を多くの方々に知ってもらうために、平成24年から開催されているもので、今年で3回目となります。

県議会議長賞は左下表のとおりです。



区分	部門名	銘柄	製造場名
清酒	純米大吟醸酒の部	駿 純米吟醸	(株)いそのさわ:うきは市
	大吟醸酒の部	山の壽 大吟醸	山の壽酒造(株):久留米市
	純米吟醸酒・純米酒の部	三井の寿 芳吟	井上合名会社:大刀洗町
	吟醸酒・本醸造酒の部	特撰 比翼鶴	比翼鶴酒造(株):久留米市
本格焼酎	本格大麦焼酎長期貯蔵酒の部	千年の眠り	(株)篠崎:朝倉市
	本格焼酎長期貯蔵酒の部	吟空/酒粕	(株)喜多屋:八女市
	一般本格大麦焼酎の部	からず	(株)花の露:久留米市
	一般本格焼酎の部	吟仕込み米焼酎 まゆり	目野酒造(株):柳川市

福岡県知事賞・福岡県議会議長賞受賞者
記念撮影

福岡県議会議長賞



障害者の収入の向上、自立と社会参加の実現を目指して

第2回 福岡県

『まごころ製品』

大規模販売会

平成27年 1月21日(水)～25日(日)

午前10時～午後8時まで【最終日は午後6時まで】

会場 福岡三越 9階=催物会場
(福岡市中央区天神 2 丁目1番1号)

まごころ

障害者がつくる すてきな贈り物



食品



菓子



雑貨



縫製品



木工品



陶芸品



絵画



さをり織り

食スペシャルイベント
食の匠 博多食文化の会
プロの料理人たちが障害者の皆さんと
コラボしてステキな料理を提供します
イベント開催日 24日(土)・25日(日)
開催時間 午前11時30分～午後3時30分



主催 福岡県「まごころ製品」
大規模販売会実行委員会

〒812-8577 福岡市博多区東公園 7-7
福岡県福祉労働部障害者福祉課
TEL.092-643-3263

まごころ製品 検索